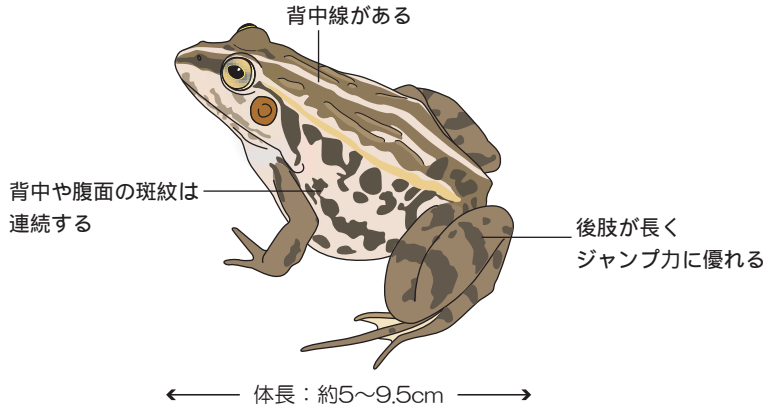


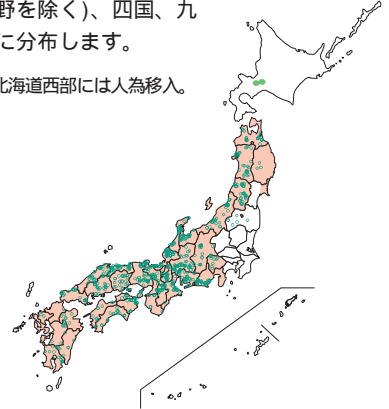
別名：シマガエル



### 分布

本州(関東地方から仙台平野を除く)、四国、九州に分布します。

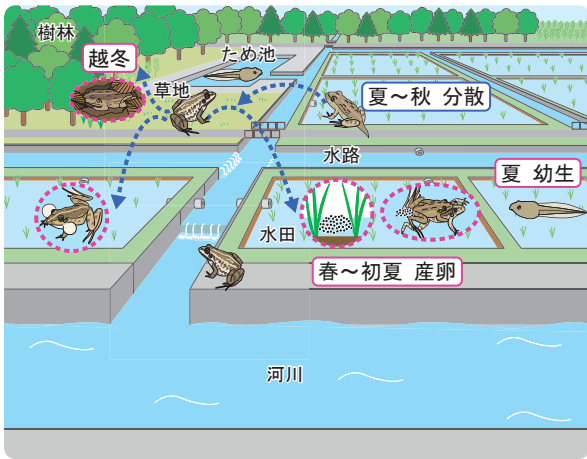
北海道西部には人為移入。



●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

**メモ** 田んぼを代表する、やや大きめのカエルです。悠然としている姿から「殿様」の名が付けられたといえます。

**生態** ---> : 本来の移動経路    ○ : 生息環境



**主な産卵環境と生息環境** <--> : 主な生息環境

|       |     |    |    |    |   |
|-------|-----|----|----|----|---|
| 樹林・草地 | ため池 | 水田 | 水路 | 河川 | 海 |
|       | 産卵  | 産卵 |    |    |   |

### 生活史

平地から丘陵地に生息します。水田周辺で主に生活しますが、非繁殖期には水辺からかなり離れた場所にも移動します。春から初夏に水田や浅いため池などで産卵し、卵は水草や抽水植物に付着します。幼生(オタマジャクシ)は夏に幼体(子ガエル)となり、上陸後に草地や樹林などに分散します。草地や樹林の土の中で越冬します。

### 写真



繁殖が終わった後の分散期では、水田近くの樹林や草地でもよくみかけます。

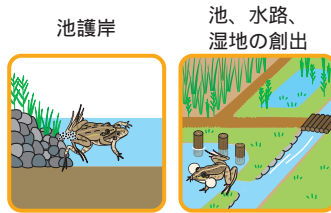


大きな餌も積極的に食べ、クモ類や昆虫類のほか、小さいカエルなども食べてしまいます。

### 配慮対策

#### 生息環境の確保 水草のある水辺環境の創出

保全池・ビオトープの対象工法



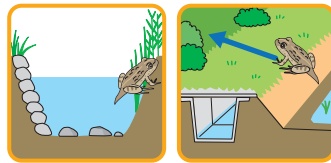
- 【池護岸】
- 自然石系 p.85
- 複合系 p.86
- (捨石等による緩傾斜護岸)
- かご系 p.87
- 木系 p.88
- 二次製品系 p.89
- 【池、水路、湿地の創出】
- 保全池 p.90
- 耕作放棄地等の
- ビオトープ化 p.92

#### 【配慮ポイント】

・水草や抽水植物のある環境に産卵するため、護岸の植生や水草の生育、水深に配慮する工夫が必要です。

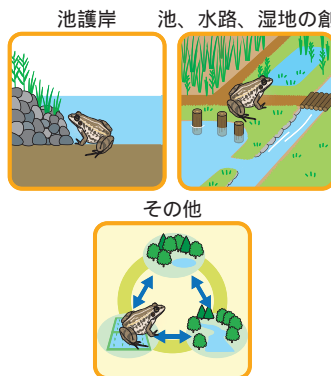
#### 移動経路の確保 水域と陸域の連続性の確保

環境配慮型水路の対象工法



- 【水路護岸】
- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77
- 【その他】
- 蓋掛け p.79

保全池・ビオトープの対象工法



- 【池護岸】
- 自然石系 p.85
- 複合系 p.86
- (捨石等による緩傾斜護岸)
- かご系 p.87
- 木系 p.88
- 二次製品系 p.89
- 【池、水路、湿地の創出】
- 承水路 p.91
- 【その他】
- 表土利用による
- 植生回復 p.93

#### 【配慮ポイント】

・水田やため池と草地や樹林を往来するため、移動経路となる水域と陸域の連続性を確保する工夫が必要です。

# ニホンアカガエル *Rana japonica* ヤマアカガエル *Rana ornativentris*

*Rana japonica*

環境省レッドリスト：カテゴリーなし

*Rana ornativentris*

環境省レッドリスト：カテゴリーなし

## ニホンアカガエル



背側線が曲がらない

← 体長：約3.5～7cm →

## ヤマアカガエル



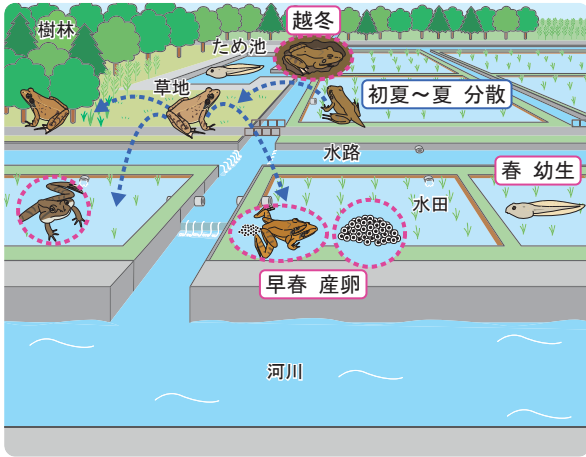
背側線が背中側へ曲がる

← 体長：約4～8cm →

**メモ** 黒褐色から赤茶色の中型のカエルです。形態が似ているため、識別には注意が必要です。

### 生態

----- : 本来の移動経路    ○ : 生息環境



### 主な産卵環境と生息環境

←→ : 主な生息環境

|       |     |    |    |    |   |
|-------|-----|----|----|----|---|
| 樹林・草地 | ため池 | 水田 | 水路 | 河川 | 海 |
|       | 産卵  | 産卵 |    |    |   |

### 生活史

ニホンアカガエルは平地から丘陵地に、ヤマアカガエルは丘陵地から山地に生息しています。非かんがい期の冬から早春に水田内の小溝や浅いため池で産卵をします。成体は産卵後、初夏まで休眠します。幼生(オタマジャクシ)は初夏に幼体(子ガエル)となり、上陸後は水辺の草地や樹林に分散します。ため池や水路などの水底で越冬します。

### 写真



ニホンアカガエル  
水田近くでよくみられます。繁殖期になると、オスは水田などで「キョッキョッキョツ・・・」と鳴きます。

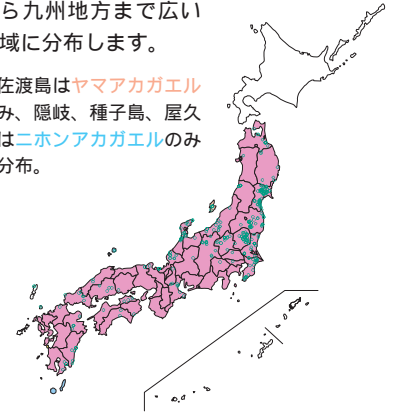


ヤマアカガエル  
樹林の中でよくみられます。繁殖期になるとオスは山間の水田などで「キャララ、キャララ」と鳴きます。

### 分布

北海道を除く東北地方から九州地方まで広い地域に分布します。

佐渡島はヤマアカガエルのみ、隠岐、種子島、屋久島はニホンアカガエルのみが分布。



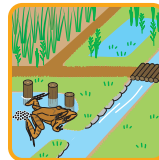
● : 「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

### 配慮対策

#### 生息環境の確保 常時湛水域の創出

保全池・ビオトープの対象工法

池、水路、湿地の創出



【池、水路、湿地の創出】

- 保全池 p.90
- 承水路 p.91
- 耕作放棄地等の  
ビオトープ化 p.92

#### 【配慮ポイント】

・冬から早春の非かんがい期に水田や浅いため池で産卵するため、常時湛水域の確保や浅い水深に配慮する工夫が必要です。

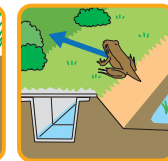
#### 移動経路の確保 水域と陸域の連続性の確保

環境配慮型水路の対象工法

水路護岸



その他



【水路護岸】

- 土水路 p.73
- かご系 p.74
- 木系 p.75
- 自然石系 p.76
- 二次製品系 p.77

【その他】

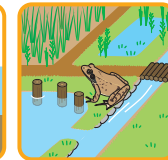
- 蓋掛け p.79

保全池・ビオトープの対象工法

池護岸



池、水路、湿地の創出



【池護岸】

- 自然石系 p.85
- 複合系 p.86
- (捨石等による緩傾斜護岸)
- かご系 p.87
- 木系 p.88
- 二次製品系 p.89

【池、水路、湿地の創出】

- 承水路 p.91

【その他】

- 表土利用による  
植生回復 p.93

#### 【配慮ポイント】

・水田やため池と草地や樹林を往来するため、移動経路となる水域と陸域の連続性を確保する工夫が必要です。